

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

March 2019 vol.59

March						
S	M	T	W	T	F	S
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

◇ そうりいけ 佐布里池

所在地：知多市佐布里

交通：知多バス「梅の館口」停 東 約 500m

梅まつりで有名な知多市の佐布里池は、木曽川を水源とし、岐阜県八百津町の兼山取水口から知多半島的美浜町に至る愛知用水の調整池のひとつです。愛知用水は、台地状の地形で川の流れに恵まれず、水の確保に苦労してきた知多半島へ安定的に水を供給するために敷設された幹線水路112kmに及ぶ用水で、幾多の労苦を乗り越え、昭和36年9月に開通しました。当初は、農業用水としての利用が中心でしたが、昭和56年からは、都市用水の需要の急増に対応するため、愛知用水二期事業が行われ、水供給の安定化と水利用の高度化が図られています。

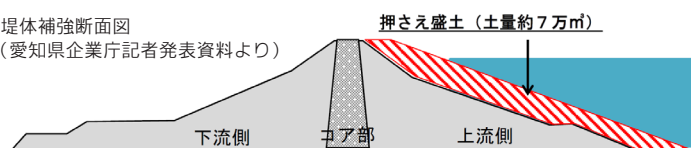
佐布里池は、この愛知用水から名古屋南部臨海工業地帯に工業用水を供給するために、昭和40年に建設された調整池で、現在では隣接する知多浄水場から知多市・東海市・阿久比町・東浦町の2市2町内の44の事業所へ、一日あたり約40万m³の工業用水を配水しており、この地域の産業活動において、重要な役割を担っています。

数々の困難を伴った愛知用水の建設にあたっては、工事中の事故などにより56名の尊い命が失われています。佐布里池の湖畔には、56名の犠牲者を合祀する愛知用水水利観音堂が、愛知用水の発展を祈念する愛知用水神社とともに建てられています。（建設までの労苦は、機関紙『水の文化』36号 愛知用水50年 <http://www.mizu.gr.jp/kikanshi/no36/01.html> にわかりやすくまとめられています。）

昭和40年に完成した佐布里池は、完成以降大きな地震を経験していませんが、「佐布里のあゆみ」（佐布里史編集委員会、昭和53年）で佐布里地区の地震災害の歴史について少し振り返ると、明治24（1891）年の濃尾地震では、公共用ため池（当時の小さなため池の数々）の堤の裂けた箇所を修理するために、補助金の申請をして認められたことが記載されており、ため池が地震による被害を受けていたことがわかります。また、地区ではこの濃尾地震や昭和19（1944）年の昭和東南海地震、昭和20（1945）年の三河地震の際に、住民が家屋倒壊の危険を避けるために、小屋掛けをして寝泊まりしたことも記載されています。

平成31年1月12日、佐布里池耐震補強工事起工式が開催されました。佐布里池では、南海トラフ地震等の大規模地震を対象とした耐震診断の結果、貯水機能は維持されるものの、液状化による堤体の沈下や変形が生じる可能性が示唆されており、これを抑制するために、堤体の上流側（貯水池側）に押さえ盛土を施工する工事が行われています。（工事は約2年間、池の水を抜いて行われ、期間中、知多浄水場では愛知用水の幹線水路から直接取水し、配水は継続されます。）この補強により、佐布里池の地震に対する安全性が高まることで、地震後の工業用水の早期復旧が実現し、ひいては、地震による産業の長期的な停滞の回避につながることを期待されます。

堤体補強断面図
（愛知県企業庁記者発表資料より）



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していたくとも、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

◆佐布里池の周辺には…

●慈眼寺（海嘯記念碑）

所在地：東海市荒尾町峯脇

交通：名鉄常滑線「新日鉄前」駅 北東 約 400m

海嘯とは海鳴りのことで、地震による津波や高潮を指します。また、昔は高潮のことを「津浪」「津なみ」とも呼んでいました。

この碑は、明治 22（1889）年の高潮による被害を受けて建立された石碑です。明治 22 年の高潮では、堤防の決壊、海水の侵入などにより、小舟等の漂着、浸水被害が発生しています。



●村木常夜灯跡

所在地：知多郡東浦町森岡前田

交通：JR 武豊線「尾張森岡」駅 東 約 400m

村木常夜灯は、旧津島神社（現在の村木神社）への献灯、村中安全、海の安全を願って、旧大洗街道沿いに建立されていましたが、昭和 19（1944）年昭和東南海地震の際に倒壊しています。この跡地に、平成 19 年 3 月、史跡とするために常夜灯が再建されています。



◆詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

★佐布里池梅まつり

佐布里池周辺には、佐布里緑と花のふれあい公園が整備されています。このふれあい公園を中心に、薄紅色の佐布里梅や白色で一重の白加賀梅など、25 種類 5,700 本の梅が植えられており、2 月から 3 月にかけて、美しい梅が咲き誇ります。一帯では梅の開花時期に合わせて佐布里池梅まつりが開催され、毎年 17 万人もの観梅客が訪れます。（平成 31 年は 2 月 9 日（土）から 3 月 10 日（日））



知多市観光ガイド HP より

期間中は朝市や特選うまいもんコーナー、特選みやげものコーナーなどでグルメが堪能できるほか、フォトコンテストや梅干し種飛ばし国際競技大会、梯子獅子などの地域の伝統芸能が披露されるイベントも用意されています。

3月のあいちの花

平成 31 年 3 月のあいちの花はスイートピーです。スイートピーは、17 世紀末頃にイタリア・シシリー島で発見されイギリスに渡り、ヨーロッパ各地で多種多様な園芸品種が生みだされたマメ科の植物で、日本には、19 世紀頃に入ってきました。



NHK みんなの園芸 HP より

花は甘い香りを放ち、蝶が羽ばたくように広がります。花色は紅、ピンク、紫、白など多彩ですが、黄色だけ存在しません。野生種は青と赤紫の鮮やかな花びらを持ち、香りも強いのが特長です。花後、表面に産毛がたくさん生えた豆さやができます。

英名の由来は、スイート（甘い）ピー（豆）です。

●ブレイクタイム●

♪緊急 SOS! 池の水ぜんぶ抜く大作戦

『緊急 SOS! 池の水ぜんぶ抜く大作戦』は、テレビ東京系列で月 1 回ペースで放送されているドキュメントバラエティ番組で、池の水を抜いてキレイにしたい！迷惑外来生物を駆除したい！など、池や沼、お堀の緊急 SOS を募集し、実際に水を抜いて、どんな生物が住み着いているかなどを検証していくコンセプトの番組です。

今年 1 月 2 日の特別番組では、耐震補強工事のために 2 か月かけて水を抜く佐布里池も登場し、今後続編も予定されています。



佐布里池ダムカードより

◆この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減斎の会・名古屋大学減災連携研究センター 平成 31 年 3 月）